

「保存したい新潟県に分布する植物」

石 沢 進

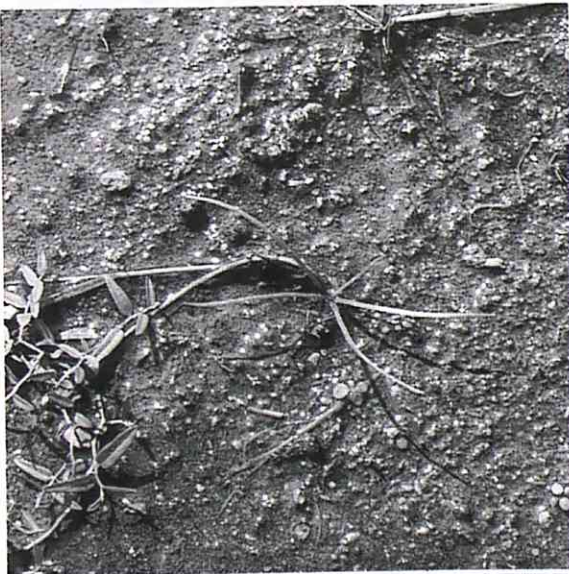
中頸城郡妙高高原町のウリカエデ(1993 10 19)



中頸城郡妙高高原町のウリカエデ

新潟県で稀な植物の生育地を守ることは重要である。その一つに中頸城郡妙高高原町のウリカエデの生育地がある。本種は、太平洋要素の一種で、太平洋側ではごく普通に分布している。しかし、新潟県では現在のところ、妙高高原町だけに生育していることが知られている。近年この生育地にゴルフ場が計画され、その生存が心配される。新潟県の自然保護係に保存をお願いしているので、全滅には至らないと思われるが、付近までコースがのびる計画との情報もあり、気をもんでいる。生育地の周辺を大きく変更されることのないように念じている（新潟県の分布図集第11集86頁参照）。

中魚沼郡津南町のミズニラ(1989 10 10)



中魚沼郡津南町のミズニラ

かつて新潟県の各地にミズニラが生育していたと思われるが、現在では極めて稀な存在になっている。岩船郡神林村の小池に数年前まで生育していたが、池の水が干上り、絶滅したようである。池の干上りは、夏期に付近の畑に地下水を灌水することが主な原因と考えられる。現在、確実に生育しているのは、中魚沼郡津南町の中子の池だけである。例年のように池の水管理を続けて、本種を絶滅させることのないようお願いしたいものである。水の富栄養化の影響を受けて消滅する危急種である。

